

2008年4月21日：東武鉄道株式会社あて
「東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書」

東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に関する要望書

貴社におかれましては、平成17年3月15日の東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の踏切事故後、抜本対策である鉄道立体化の検討について、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

お陰様をもちまして、平成19年度当初、足立区が事業主体となる東武伊勢崎線（竹ノ塚駅付近）連続立体交差事業が、新規着工準備箇所として採択されました。

現在、足立区では、鉄道の比較設計や関連事業計画の検討等を実施し、平成23年度の事業着手を目標に、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。

また、鉄道立体化に合わせたまちづくりにつきましても、区北部の地域拠点として、鉄道立体化に合わせた都市機能の更新、地域商業の活性化等を図ってまいりたいと考えております。今後も、平成18年度に立ち上げた、地元代表者によるまちづくり連絡会において、地域住民と協働し、まちづくり構想策定に向けて精力的に検討を進めてまいります。

こうした取組に加え、足立区は、連続立体交差事業の着実な実施を担保するため、竹の塚鉄道立体化資金積立基金を設置し、将来の財政負担に備えております。

つきましては、東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近の鉄道高架化早期実現に向け、区施行での連続立体交差事業に対し、今後とも鉄道事業者として、積極的な取り組みをいただきますようお願い申し上げます。

平成20年4月21日

竹ノ塚駅付近鉄道高架化促進連絡協議会会長
足立区長 近藤 やよい(印)

東武鉄道株式会社
取締役社長 根津 嘉澄 様